

市町村名		多良間村					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光関連施設整備事業(食事・土産品施設)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成27~29, 令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備	
事業内容	地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光客等への安定した食事・お土産品の提供の場を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進するために、実施設計をもとに建築工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R2 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	R1年度	
		(a) 当初予算額	4,752	4,360	224,955	-	
	(b) 予算現額	3,132	17,397	318,833	-		
	(c) 増減額(b-a)	▲1,620	13,037	93,878	-		
	(d) 繰越額	-	0	0	318,833		
	A. 計(b+d)	3,132	17,397	318,833	318,833		
	B. 執行済額	3,132	16,848	0	270,777		
	うち交付金充当額	2,505	13,478	0	216,621		
	次年度繰越額	0	0	318,833	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	96.8%	0.0%	84.9%		
予算の状況の説明	実施設計を踏まえた工事積算を行ったところ、工事費の増が生じたため、予算額を増額した。建築工事について、2回の入札を行ったが、不調及び不落となり、繰越が生じた。建築工事の一部について、R1年度に実施する計画に変更したことから、不用が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	建築工事・監理業務の実施	目標	( 作成 )	( 実施 )	( )	( )	
	実績	作成	実施				
達成状況説明	入札不調及び不落の発生により、建築工事の契約までに不測の時間を要したものの、建築工事及び監理業務を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	施設整備工事(建築)の完了	目標	( )	( 完了 )	( 完了 )	( )	( )
		実績		完了	完了		
	【R2成果目標】 (地域振興施設機能) ・施設の利用者(延べ人数):34,650人/年以上 ・施設に訪れた観光客を対象にアンケートを実施し、当該施設によって多良間村観光の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより施設のあり方を検証する。	目標					34,650人 80%
	【R2成果目標】 (一時避難所機能) ・施設を利用した避難訓練(1回/年)を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、施設のあり方について検証する。	目標					80%
進捗状況説明	入札不調及び不落の発生により、建築工事の契約までに不測の時間を要したものの、H29年度としての施設整備工事(建築)を完了し、目標を達成した。						

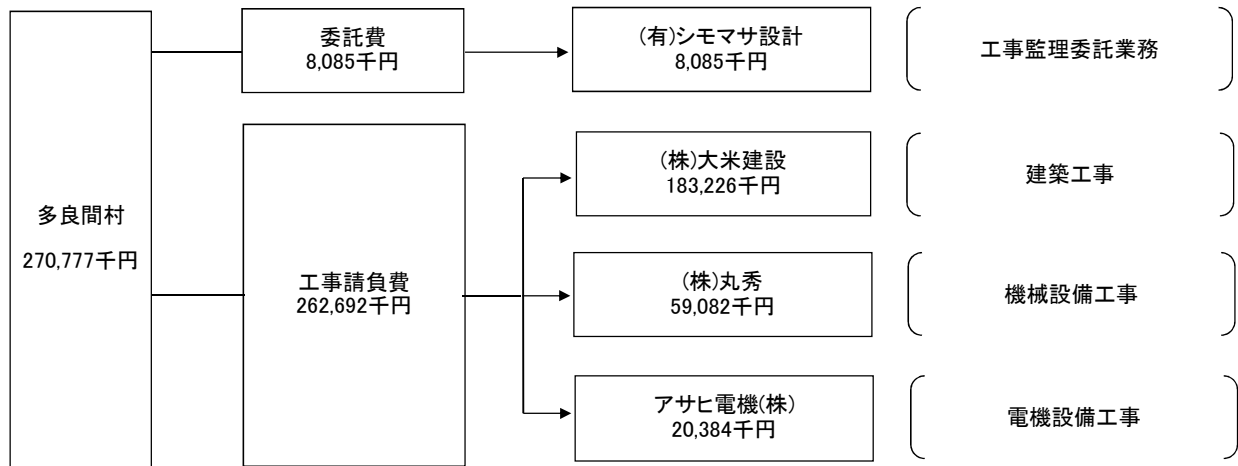
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	入札不調及び不落の発生による工事着工の延期により、観光関連施設の供用開始時期に遅れが生じた。	離島地域における建築工事は、費用の高騰や労働者不足により、契約に至るまでには引き続き厳しい状況が想定されることから、工事を請け負うことが可能となるような環境を整えるための取り組みを強化する必要がある。

**今後の取り組み方針**

観光関連施設の供用開始に向けて、残工事が早期に契約可能となるよう建築動向の把握や実勢価格の反映に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

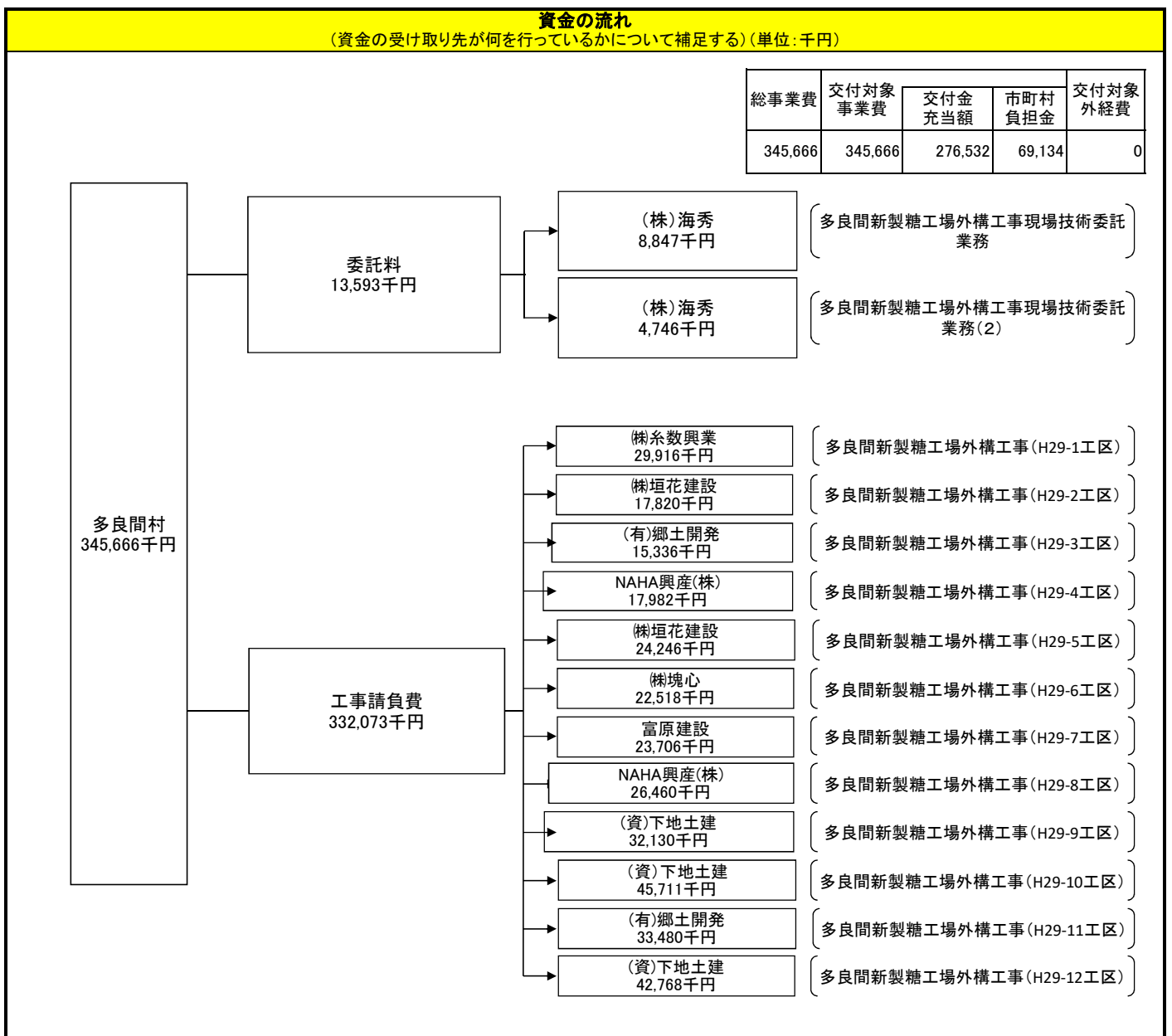
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
270,777	270,777	216,621	54,156	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事については、指名競争入札を行っており、妥当であったと考える。 ○工事費について、入札不調・不落の影響により一部不用品が発生したものの、事業内容に沿った適正な規模だった。 ○費目・使途については、精算段階において検査を実施しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	多良間新製糖工場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-(イ)	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興	
事業内容	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、持続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R1 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)
		(a)当初予算額	12,204	—	55,000	304,000	—
	(b)予算現額	65,756	—	71,766	346,094	—	
	(c)増減額(b-a)	53,552	—	16,766	42,094	—	
	(d)繰越額	—	42,051	—	—	307,081	
	A. 計(b+d)	65,756	42,051	71,766	346,094	307,081	
	B. 執行済額	23,705	36,059	70,794	39,013	306,653	
	うち交付金充当額	18,964	24,968	56,635	31,210	245,322	
	次年度繰越額	42,051	—	—	307,081	—	
	執行率(%) (B/A)	36.0%	85.8%	98.6%	11.3%	99.9%	
予算の状況の説明	最新の単価を反映した工事積算を行ったところ、工事費の増が生じたため、予算額を増額した。外構工事について、既存工場の操業との関係から繰越が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	含みつ糖製糖施設外構工事の実施	目標	( ) 不発弾事前探査委託業務、用地造成工事測量設計委託業務、用地造成工事の実施	( ) 含みつ糖製糖施設外構工事整備	( ) 含みつ糖製糖施設外構工事の実施	( )	
	実績	( ) 不発弾事前探査委託業務、用地造成工事測量設計委託業務、用地造成工事の実施	( ) 含みつ糖製糖施設外構工事整備	( ) 含みつ糖製糖施設外構工事の実施	( )		
達成状況説明	既存工場の操業の関係から繰越が生じたものの、計画どおり含みつ糖製糖施設外構工事を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標値(R1年度)
	含みつ糖製糖施設外構工事の完了	目標	( )	( ) 委託業務、造成工事の完了	( ) 設計業務、外構工事の実施	( ) 外構工事の完了	( )
		実績	( )	( ) 委託業務、造成工事の完了	( ) 設計業務、外構工事の実施	( ) 外構工事の完了	( )
	【R1成果目標】製糖期間におけるさとうきびの入可能割合100% (受入可能割合=農家によるさとうきび生産量のうち、製糖工場が受入できた割合)	目標	( )	( )	( )	( )	100%
進捗状況説明	含みつ糖製糖施設外構工事は、平成31年3月に完了し、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設完了により、継続してさとうきびの受入が可能となった。今後、将来的に施設利用していく上で、老朽化等により施設での受入可能量が低下する可能性がある。	施設メンテナンスの実施を行うことで施設の長寿命化を図りつつ、修繕の実施を行い受入可能量の低下を防止する必要がある。
今後の取り組み方針		
指定管理者である製糖事業者により、毎年、操業期終了後～操業期にかけ徹底した施設メンテナンスの実施を行っていく。		



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負、委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当だと考えている。 ○不用額については、事業費の1%未満のため適正な規模だと考えている。 ○完了検査等も実施しているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

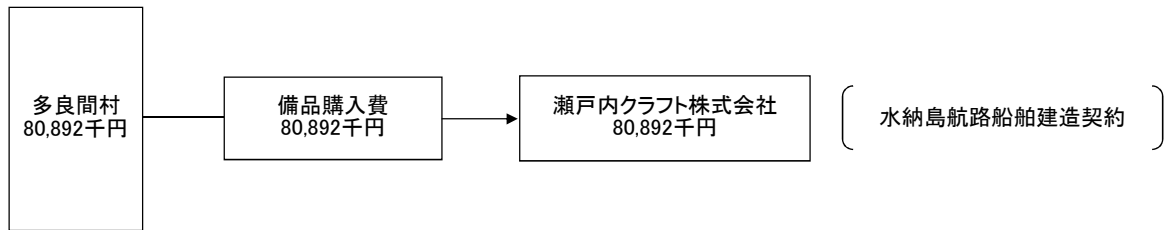
市町村名	多良間村						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	水納島航路船舶建造事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-3-(11)-ア	
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	水納島航路は、建造後25年を経過した船舶により、不定期航路として水納島⇄多良間島間を運行しており、他に交通手段はない中、船舶が老朽化していることから、村所有の船舶を建造し、連絡船の整備を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R1 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	83,160	—			
		(b)予算現額	83,160	—			
		(c)増減額(b-a)	0	—			
		(d)繰越額	—	83,160			
		A.計(b+d)	83,160	83,160			
	B.執行済額		0	80,892			
	うち交付金充当額		0	64,713			
	次年度繰越額		83,160	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.3%			
予算の状況の説明		船舶の規模及び仕様について、航路事業者との協議に不測の日数を要したことから、繰越が生じた。事業計画どおりに執行しており、不用額は入札差金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	船舶の建造	目標	( 船舶の建造 )	( )	( )	( )	
		実績	船舶の建造				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	船舶の規模及び仕様に関する航路事業者との協議が難航したことにより繰越が生じたものの、計画どおり船舶の建造を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	船舶の建造完了	目標	( )	( 船舶の建造完了 )	( )	( )	( )
		実績		船舶の建造完了			
	【R1成果目標】航行可能な海象条件下における船舶運航需要(水納島⇄多良間島)に対応できた割合100%		目標				100%
進捗状況説明	船舶の建造は、H31年3月に完了し、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	造船所の選定にあたり、県内外で造船所が混雑しており、発注が思うように進まなかった。 県内で造船可能な業者がないことから県外の造船所に作成を依頼し、造船までは問題無く完了したが、本村までの回航にあたり、天気の影響により当初予定していた期日より数日到着が遅れた。	事業の計画の段階で造船所の混雑状況を把握する必要がある。また、天気等予測が困難な外部影響により事業の進捗が遅れることを想定し、事業期間に余裕を持って計画する必要がある。

今後の取り組み方針
計画策定にあたり、事前に把握しておく情報を整理し、収集を行う。また、事業の推進にあたっては、予測不能な外部からの阻害要因を想定し、事業期間に余裕を持って設定する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
80,892	80,892	64,713	16,179	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○船舶建造の業者選定は一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	